

映画で学ぶ 環境問題



『SPACE BATTLESHIP ヤマト』
(スペース・バトルシップヤマト)

監督 山崎貴
脚本 佐藤嗣麻子
原作 西崎義展
出演者 木村拓哉
黒木メイサ
柳葉敏郎

製作会社 ROBOT
配給 東宝
公開 2010年12月1日

「これは日本。放射能に汚染され、立ち入れない地域があった。」
こんな話は、わずか3〜4年前までSFの世界でしか、ありえませんでした。
しかし、ご存じの通り福島原発の事故以来、東北はもとより東日本全域、そして日本国民全員が、放射能の恐怖におびえる日々を過ごしています。
今回の映画、「スペースバトルシップ・ヤマト」とは、ご存じの通りアニメで一大ブームを巻き起こした「宇宙戦艦

ヤマト」の実写版です。アニメが初めて放映されたのは、1974年。なんと40年も前のことです。そんな昔から『日本を舞台にした放射能汚染』に対する警告作品が制作されながら、結局はなすすべもなく、我々人類の手によって放射能汚染で住めない地域を作り出してしまったことは、残念でなりません。
本作は、汚染された日本と地球を救うために、古代進(こだい・すすむ)と地球防衛軍が、ガミラス星人との戦いをくぐり抜け、宇宙の彼方にある救世主たるイスカタル星へ向かう様子が描かれて

います。基本部分はアニメに沿って製作されているものの、エンディングを含む随所は本作ならではの展開になっています。
主人公を演じるのはSMAPの木村拓哉。
一部のアニメ版ヤマトファンからは、アイドルのキムタクが古代を演じることに反発があったようですが、実に立派に古代進を演じています。冒頭の登場シーンで、地下に潜む2人の民間人もめるシーンがあるのですが、端役2名は「いかにも演技している」状態なのに対し、キムタクの方は最後まで「古代進」そのものです。
その他の登場人物、沖田館長やアナライザーなども、まるでアニメから抜け出てきたかのように、往年のファンなら思わずニンマリするでしょう。
1つ難をいえば、故・宮川泰(みやがわ・ひろし)の手による、あの有名な主題歌をエンディングにもつてきて欲しかったところです。
さて「映画で学ぶ環境問題」というこのコーナーで、私達は本作から何を学べるのかですが、謎解きになり恐縮ですが、アニメ版と違う実写版の本作での「イスカタルとガミラス」は、どういふものだったかが「答え」です。ネタバレと叱られることを承知で書きますと、本作での

ここから先、私達がめざすべきは「経済の発展」とともに「グリーンで美しく、良い地球環境」のバランス。それを可能にするのは、私達の良心であり、技術力、そしてヤマトの乗組員並みの勇気と意識です。
私も大日化成も、ヤマトのテーマソングを今一度、思い出しながら、今日も心新たに活動してまいります。

「イスカタルとガミラス」は同じ星の表裏一体だったのです。
これは何を意味しているかというところ、まさに「科学」や「原子力」そのもの、科学や原子力の発展は、人類に素晴らしい進歩を与えてくれたとともに、恐ろしい地獄も与えたのです。どちらも人間が発見し、開発したからの結果。
昨今の中国PM2.5問題も同じですが、経済発展を優先するため、環境汚染という課題を放置したまま進めば、結局は人間自身のクビを締める結果となります。

ビッグサンのカタログが新しくなります。

いつもポリマーセメント系塗膜防水材料「ビッグサン」を御愛顧頂き、有難う御座います。

この度、数年ぶりに「ビッグサン」のカタログをリニューアル致しました。

これからも引き続き「ビッグサン」を御愛顧頂き、よろしくお願い申し上げます。

従来、
 〓ビッグサン 建築用
 〓ビッグサン 屋根用
 〓ビッグサン 土木用
 〓ビッグサン 防食防水工法」...と、用途によって数種類に分かれていたカタログを統一し一冊のカタログにした事で、現場での打合せの際に何種類ものカタログを持って行く必要がなく、スムーズに打合せが行えるように

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

いつもお世話になっております。
大日化成東京支店営業部 遠藤大輝と申します。
2012年4月に入社し、間もなく一年が経ちます。一年経つのがあっという間で、月日の経つ早さに驚いています。先輩社員の方々に暖かく迎え入れて頂き、ようやく仕事にも慣れてきました。入社して3ヶ月間の研修期間を終え、今では一人で営業に行くようになりました。主に設計事務所や役所を廻り、設計活動を行っています。設計営業では製品の説明はもちろん、お客様からの質問にも答えなければなりません。最初のうちは聞かれたことによく回答できないことが多く、苦労しました。毎日、わからなかったことを勉強し、少しずつお客様の前で話せるようになってきたと思います。個人的な趣味の話になりますが、私はサッカーを小学校の頃から続けてきました。最近では専ら観戦ばかりに



東京支店 営業部 遠藤大輝

なってしまうましたが、時々、休日にサッカーやフットサルで汗を流しています。
それでも運動不足がたり、入社してから7キロ体重が増えました。
実は大日化成は岡山の女子サッカーチームの岡山湯郷ベルとスポンサー契約をさせて頂いてます。研修で岡山に行った時には、実際に湯郷ベルの試合を見させて頂きました。試合結果は圧勝でした。
女子サッカーを生で見る機会はなかなかなかったのですが、とても良い経験が出来ました。是非、皆様もスタジアムに応援に出かけてみてください。最後になりましたが、これからも皆様のご期待に添えるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803